



2011-12年度 山口会長テーマ

『貴方が動けば 何かが変わる』

11月:ロータリー財団月間

秋季家族例会



第1793回例会プログラム
2011年11月19日(土)

11月の花
「アルストロメリア」
花言葉：やわらかな気配り



今後の予定:

| | |
|------------------|---|
| 11/23 (祝) (水) | (祝) 勤労感謝の日 |
| 11/30 (水) | ・外部卓話 もんぺ座 |
| 12/7 (水) | ・クラブ全員協議会 年次総会 ・卓話「家族月間に 因んで」 山中親睦委員長 ・定例理事会 |

<例会>

於:一休庵

- 開会点鐘
- 友情と親睦の握手
- 会長の時間
- 幹事報告
- 委員会報告
- 出席状況報告・他
- 閉会の点鐘

<親睦会>

- 開会の挨拶
- 会長挨拶
- 乾杯
- ご家族の紹介
- 食事と歓談
- 親睦委員長挨拶
- 閉会の挨拶

<本日の行程>

くずは駅前 ⇒ 第二京阪・京滋・名神 ⇒ 釈迦山・百済寺(拝観) ⇒
8:30 10:00~11:30
松峰山・金剛輪寺(拝観) ⇒ 一休庵(例会食事) ⇒ 龍應山・西明寺(拝観) ⇒
11:35~12:55 13:00~14:30 14:35~15:30
藤居本家(酒蔵見学・試飲) ⇒ くずは駅前
15:50~16:40 18:30頃

【出席会員】(敬称略)

原田武夫、畠仲 聡、初木賢司、岩本昌治、北川順清、北村 隆
小北英夫、宮田 明、高島叔孝、上野 徹、山口伊太郎、山中 卓

【ご家族参加者】

岩本文恵様、北川一美様、小北比呂美様、三木幸子様
山口節子様、山中勝子様



龍鷹山西明寺 西国薬師第32番霊場

平安時代の開山。鎌倉時代・室町時代と修験道場として栄えた古寺。本堂に向かって右手には、二重三重の屋根の間隔を小さくした均整のとれた美しい三重の塔がある。堂内いちめん法華経の図解・三十二菩薩が極彩色で描かれ、鎌倉時代の壁画ながら今も鮮やかに保たれている。住職一代に一度の御開帳の秘仏として祀られている本尊薬師如来をはじめ、釈迦如来、錦幡など重要文化財の宝庫だが、万全を期して仏像以外は各地の博物館に預けられている。西明寺の紅葉は特に美しく、多くの人が心の安らぎを求め参拝に訪れる。



松峰山金剛輪寺 近江33観音第15番札所

奈良時代行基の開山と伝えられる湖東三山真ん中のお寺。寺伝には聖徳太子の勅願によって、天平十三年(741年)に行基によって開基され、嘉祥年間(848年-850年)に延暦寺の慈覚大師によって中興されたとある。行基の作と伝えられる秘仏本尊聖観世音菩薩をはじめ十四の仏像は重要文化財に指定され、本堂大悲閣は鎌倉時代の和風建築物として国宝に指定されている。三重の塔・本坊明寿院・茶室水雲閣・庭園と見所が多く四季を通して参拝者が絶えることはない。ツツジ・サツキ・アジサイ・シャクナゲでも知られる花の寺でもある。



釈迦山百済寺 近江33観音第16番札所

推古天皇の時代に聖徳太子の勅願によって、高麗僧惠慈を導師として、百済僧道欣が創建したという渡来人とかかわりの深いお寺。過去三度火災にあい、その最大のは織田信長の焼き討ちで、全山が消失したが、聖徳太子の自作である十一面観音立像は住職らによって運び出された。お顔や胸に焼け痕が残り百済寺の歴史が偲ばれる。本堂・仁王門・山門などは慶安三年(1650年)に彦根藩井伊家や甲良豊後守宗廣らにより再興されたものだ。本坊喜見院の池泉回遊式庭園はその美しさで特に有名。

総けやきの酒造 藤居本家



琵琶湖のほとりに江戸時代から代々酒造りを続けている藤居酒造は、近江米を使い、鈴鹿山系からの伏流水を使って美味しいお酒を造っている。店舗は家主の設計による総けやき造り。どっしりとした構えで、2本の太い檜の柱で支えられ広々とした店内では試飲ができ、2階のホールではいろいろな催し物が開かれる。この建物の背後には立派な庭が見学できる。酒蔵も太い檜の柱4本で支えられた設計で一年を通じて蔵内の温度を一定に保つようになっており、独特の雰囲気をもち一見の価値がある。柱、梁などに使われている立派な檜はすべて滋賀県内のものを家主が自ら集めたという。

